



利根運河でアレチウリの駆除イベントを行いました



【月日】2012年7月19日（木）

【場所】利根運河河川敷（千葉県柏市市立柏高校前）

【主催】利根運河協議会

【参加】計54名

■アレチウリ駆除の経緯

利根運河は、さまざまな生き物の生息・生育場所となっています。しかし、近年、アレチウリ（特定外来生物※）などの外来植物が増えており、これら外来植物が利根運河に蔓延すると、利根運河の豊かな自然をおびやかす恐れがあります。そのため、利根運河周辺の市民、自治体のみなさんと協働でアレチウリの駆除を行いました。場所は、利根運河で最もアレチウリが繁茂していた柏市の市立柏高校前の河川敷としました。

※特定外来生物とは、生態系等に悪影響があるとして、法律（外来生物法）で飼育や栽培、運搬などが禁止されている外来種です。



▲アレチウリ駆除を実施した河川敷

■アレチウリの特徴・他の植物への影響

【特徴】アレチウリは、北アメリカ原産のウリ科の一年生草本です。茎はつる状で長く伸び、10mを越えることもあります。茎や葉には細かい毛のようなトゲがあり、果実にも特に鋭いトゲがあります。

【他の植物への影響】つるを伸ばして植物の上を覆うように繁茂するため、他の植物に届く光を遮ってしまい、生育を抑圧するなど、在来植物に影響を及ぼします。



▲アレチウリ

■多くの人が集まりました

利根運河周辺の市民のみなさん（かしわ環境ステーション、利根運河の生態系を守る会、野田自然保護連合会、東葛自然と文化研究所、東京理科大学の学生の方々）や、行政職員（野田市、柏市、流山市、千葉県、国土交通省江戸川河川事務所）など、合わせて50人以上が集まりました。



▲集まった参加者(様々な年代の方が集まりました)

■アレチウリの駆除（抜き取り）

アレチウリの駆除は、手作業による抜き取りで行いました。地道で大変な作業でしたが、1時間ほどの作業で、山のような量のアレチウリが抜き取られ、アレチウリはほとんどみられなくなりました。



▲駆除の様子



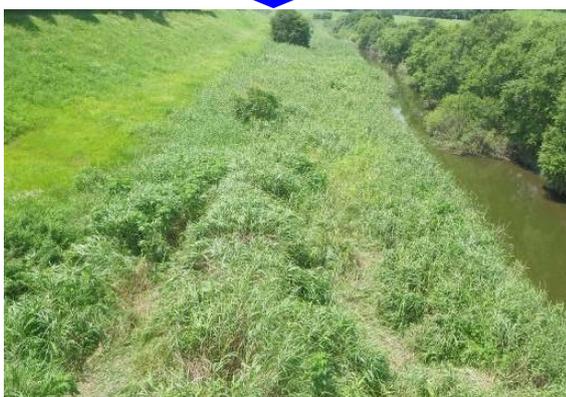
▲抜き取ったアレチウリ

■駆除前後の景観

下の写真はアレチウリの駆除前と後の景観写真です。アレチウリは河川敷の草地やヤナギの木に覆い被さって繁茂していましたが（写真のピンク点線の範囲）、駆除後にはまったく見えなくなりました。



駆除前



駆除後

